

**2026年 7 月(第4版)
*2022年 3 月(第3版)

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器
歯科用セメントキット 70842000

パナビア® ベニア LC

医療機器認証番号：303ABBZX00060000

歯科用コンボジットレジンセメント 70837002

パナビア® ベニア LC ペースト

医療機器認証番号：303ABBZX00035000

*アプリケーションブラシ及びアプリケーションチップの再使用禁止

*【禁忌・禁止】

- ・本品又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・アプリケーションブラシ及びアプリケーションチップは再使用禁止。

【形状・構造及び原理等】

・パナビア® ベニア LC ペースト

形状	組成
ペースト	モノマー(TEGDMA、親水性アミド系モノマー、UDMA、その他のメタクリル酸系モノマー)、フィラー(球状微粒子シリカ、表面処理シリカ系マイクロフィラー、フッ化イッテルビウム)、重合触媒、重合促進剤、着色剤、安定剤

色調：ユニバーサル、クリア、ブラウン、ブリーチ

【付属品】

アプリケーションチップ(16G)

・パナビア® ベニア LC

構成成分	形状	組成
パナビア® ベニア LC ペースト*	ペースト	上表を参照
パナビア® V5 トゥース プライマー	液体	モノマー(HEMA、MDP®、その他のメタクリル酸系モノマー)、精製水、重合促進剤、安定剤
クリアフィル® セラミック プライマー プラス	液体	エタノール、シランカップリング剤、モノマー(MDP®)

*色調：ユニバーサル、クリア、ブラウン、ブリーチ

【付属品】

アプリケーションチップ(16G)、アプリケーションブラシ(ファインシルバー)、混和皿

本品に同梱されている構成成分等についてはパッケージの記載をご参照ください。

【作動・動作原理等】

・パナビア® ベニア LC ペースト

可視光線光エネルギーにより、重合硬化します。

[JIS T 6611 タイプ2・クラス2(光重合型レジン)/X線造影性あり]

・パナビア® V5 トゥース プライマー

窩洞、支台歯の表面改質及び「パナビア® ベニア LC ペースト」の重合促進を行い、「パナビア® ベニア LC ペースト」とともにラジカル重合により硬化します。

・クリアフィル® セラミック プライマー プラス

歯科用セラミックス及び歯科用金属の表面改質を行った後に、「パナビア® ベニア LC ペースト」とともにラジカル重合により硬化します。

【使用目的又は効果】

【使用目的】

歯科修復物・歯科修復材・歯科装置・口腔内硬組織のいずれかの相互間の接着に用いる。

【使用用途】

十分な透光性を有する厚さ2.0mm未満のラミネートベニア、インレー又はアンレーの接着

【使用方法等】

併用する材料について

本品と併用する材料は次のとおりです。

使用方法については、各製品の電子添文にしたがってください。

①歯面処理材

歯面処理材「パナビア® V5 トゥース プライマー」(医療機器認証番号：226ABBZX00104000)

②セラミックス処理材

歯科セラミックス用接着材料(例えば「クリアフィル® セラミック プライマー プラス」)

③色調適合確認材料

歯科用色調適合確認材料「パナビア® V5 トライイン ペースト」(医療機器認証番号：226ABBZX00103000)

④表面硬化保護材

歯科接着・充填材料用表面硬化保護材(例えば「オキシガード® II」)

⑤清掃材

例えば、歯科セラミックス用接着材料「カタナ® クリーナー」

⑥リン酸エッチング材

歯科用エッチング材(例えば「K エッチャント シリンジ」)

⑦補綴装置

シリカ系ガラスセラミックス、歯科用陶材(例えば「ノリタケスーパーポーセレンAAA」)、無機物フィラーを含むレジン系材料(例えば「カタナ® アベンシア® ブロック 2」、「カタナ® アベンシア® ブロック N」)又は、ジルコニア等の金属酸化物(「ノリタケカタナ® ジルコニア」(医療機器認証番号：223AFBZX00185000)、「カタナ® ジルコニア ブロック」(医療機器認証番号：229AFBZX00049000))で作製された補綴装置

歯科重合用光照射器と硬化深度について

本品の重合で使用する歯科重合用光照射器は下記のとおりです。

・LED照射器：光源が青色LEDで発光スペクトルのピークトップが450～480nm

・ハロゲン照射器：有効波長域が400～515nm

光量については各照射器の電子添文又は取扱説明書等を確認してください。

本品の硬化深度は下記の通りです。(JIS T 6611)

・ユニバーサル、クリア、ブラウン：1.5mm以上

・ブリーチ*：1.0mm以上

*JIS T 6611の光硬化深度の点で「オペーク色」に相当するシェード

使用方法

(1) 窩洞・支台歯の清掃

通法にしたがい仮封材・仮着材等を除去し、窩洞、支台歯の清掃、防湿を行います。[仮封材・仮着材の残留物の除去及び清掃を目的として、清掃材を電子添文にしたがい適用することも可能です。]

取扱説明書を必ずご参照ください

(2) 補綴装置の試適

- ① 補綴装置を試適し、窩洞、支台歯との適合性を確認します。
- ② 必要に応じて、補綴装置の被着面に色調を選択した「パナビア® V5 トライイン ペースト」を電子添文にしたがい塗布し試適します。マージン部から溢れた余剰のペーストはディスポ小筆ブラシ等で除去します。「パナビア® V5 トライイン ペースト」の色調は本品の硬化後の色調に対応しています。
色調を確認した後、補綴装置を取り外し、補綴装置及び歯面に付着しているペーストを水洗により完全に取り除きます。

* (3) 補綴装置の前処理

十分な透光性を有する厚さ2.0mm未満の補綴装置の電子添文にしたがい、前処理します。補綴装置による指定がない場合は、下記の方法を推奨します。

ジルコニア等の金属酸化物については、高透光性を有する「ノリタケ カタナ® ジルコニア」のSTML/UTML及び「カタナ® ジルコニア ブロック」のSTMLのみ、厚さ1.2mm未満で使用することができます。「ノリタケ カタナ® ジルコニア」のYMLは厚さ1.2mm未満のラミネートベニアの場合のみ使用することができます。他のジルコニア等の金属酸化物は十分な透光性を有しない為、使用できません。

被着面がシリカ系ガラスセラミックス、歯科用陶材(例えば「ノリタケスーパーポーセレン A A A」)の場合

- ① リン酸エッチング材を被着面に塗布して5秒処理後、水洗・乾燥を行います。[汚染された被着面の清掃を目的として、リン酸エッチング材の代わりに清掃材を電子添文にしたがい適用することも可能です。]
- ② セラミックス処理材をアプリケーションブラシ等を用いて塗布し、弱～中圧のマイルドなエアブローで乾燥します。
[必要に応じてリン酸エッチング処理又は清掃材処理の前に30～50μmのアルミナ粒子を用いて0.1～0.2MPa(1～2kgf/cm²)の空気圧でサンドブラスト処理を行い、被着面を粗造化します。空気圧は補綴物の材質及び形状に応じて、チップングに注意しながら適宜調節してください。その後、超音波洗浄を2分行い、エアブローで乾燥します。]

被着面が無機物フィラーを含むレジン系材料(例えば「カタナ® アベンシア® ブロック 2」、「カタナ® アベンシア® ブロック N」)の場合

- ① 30～50μmのアルミナ粒子を用いて0.1～0.2MPa(1～2kgf/cm²)の空気圧でサンドブラスト処理を行い、被着面を粗造化します。空気圧は補綴物の材質及び形状に応じて、チップングに注意しながら適宜調節してください。その後、超音波洗浄を2分行い、エアブローで乾燥します。
- ② リン酸エッチング材を被着面に塗布して5秒処理後、水洗・乾燥を行います。[汚染された被着面の清掃を目的として、リン酸エッチング材の代わりに清掃材を電子添文にしたがい適用することも可能です。]
- ③ セラミックス処理材をアプリケーションブラシ等を用いて塗布し、弱～中圧のマイルドなエアブローで乾燥します。

被着面がジルコニア等の金属酸化物(例えば「ノリタケ カタナ® ジルコニア」、「カタナ® ジルコニア ブロック」)の場合

- ① 30～50μmのアルミナ粒子を用いて0.1～0.4MPa(1～4kgf/cm²)の空気圧でサンドブラスト処理を行い、被着面を粗造化します。空気圧は補綴物の材質及び形状に応じて、チップングに注意しながら適宜調節してください。その後、超音波洗浄を2分行い、エアブローで乾燥します。[サンドブラスト処理後に試適した場合には、汚染された被着面の清掃を目的として、清掃材を電子添文にしたがい適用することも可能です。]
 - ② セラミックス処理材をアプリケーションブラシ等を用いて塗布し、弱～中圧のマイルドなエアブローで乾燥します。
- (4) 窩洞・支台歯の前処理
- ① 試適等によって汚染された場合には、通法、もしくは、清掃材を電子添文にしたがい適用し、清掃してください。
 - ② ラミネートベニアの場合及び未切削のエナメル質への接着を行う場合は、エナメル質のみをリン酸エッチング材の電子添文にしたがって、10秒間処理後、水洗・乾燥を行います。但し、生活歯の象牙質にリン酸エッチング処理は行わないでください。
 - ③ 「パナビア® V5 トゥース プライマー」を電子添文にしたがい混和皿に必要量採取し、アプリケーションブラシ等で窩洞・支台歯全体に塗布し、20秒間処理します。処理中は唾液や血液等により汚染されないように保持してください。

*表. 各補綴装置の光照射条件

併用する材料及び色調		使用可能な 補綴装置の厚み	歯科重合用光照射器(光量)		
			高出力LED照射器 (1500mW/cm ² 以上)	LED照射器 (1000～1400mW/cm ²)	ハロゲン照射器 (400mW/cm ² 以上)
ラミネートベニア修復			照射時間		
シリカ系ガラスセラミックス、 歯科用陶材	BLシェード、 A1、A2、A3、 A3.5、B1、B2	2.0mm未満	3秒×3回 又は 5秒×2回	10秒	20秒
	その他の色調			20秒	
無機物フィラーを含む レジン系材料	全ての色調	1.2mm未満			
ノリタケ カタナ ジルコニア STML／UTML／YML、 カタナ ジルコニア ブロック STML					
インレー、アンレー修復			照射時間		
シリカ系ガラスセラミックス、 無機物フィラーを含む レジン系材料、歯科用陶材	全ての色調	2.0mm未満	3秒×3回 又は 5秒×2回	10秒	20秒
		1.2mm未満			
ノリタケ カタナ ジルコニア STML／UTML、 カタナ ジルコニア ブロック STML					

- ④窩洞隅角部に液溜まりができないよう、スポンジ、ペーパーポイント等で余剰のプライマーを吸い取った後、エアブローで確実に乾燥を行います。
プライマーの飛散を防止するため、必要に応じてバキュームを併用します。プライマーが飛散した場合には、必ず拭き取ること。余剰ペーストが完全に硬化し、除去しにくくなる場合があります。

(5) シリンジ及び付属品の準備

本品のシリンジ容器のキャップを外し、アプリケーションチップをゆっくりと時計回りに回し、緩みのないようにしっかりと取り付けます。
直接口腔内で使用する場合、交差感染を防ぐため、必ずポリ袋等の保護カバーでシリンジ全体を覆い、唾液・血液等が接触しないように注意してください。また、シリンジは使用前後にアルコールワットで拭い消毒してください。

(6) ペーストの採取・塗布

シリンジのプランジャーを押して、ペーストを押し出し、気泡を巻き込まないように被着面全体もしくは窩洞内に塗布し、補綴装置を装着します。

(7) 余剰ペーストの除去

下記のいずれかの方法で余剰ペーストを除去します。

光照射による方法

余剰ペーストに1ヶ所につき必ず1秒以内の光照射を行った後、補綴装置が動かないように押さえながら半硬化した余剰ペーストを探针等で除去します。半硬化までの時間は照射器の種類や光量により異なるため、ペーストに光照射して事前に確認してから、適宜調節してください。余剰ペーストの除去を容易にするため、1ヶ所につき1秒以上照射しないようにしてください。

光照射を行わずに、余剰ペーストの除去を行う方法

補綴装置が動かないように押さえながら、速やかにブラシ、フロス又は探针等を使用して余剰ペーストを除去します。表面の未重合層を空気から遮断し、しっかりと硬化させるため、表面保護材を、当該電子添文にしたがってマージン部に塗布した後、(8)最終硬化を行うことができます。

* (8) 最終硬化

十分な透光性を有する厚さ2.0mm未満の補綴装置に対して、「表. 各補綴装置の光照射条件」を参考に補綴装置全体及びマージン部に光照射を行います。1回の光照射で、硬化させる部位全てが照射径に入らない場合は、光照射を繰り返して全ての部位に対して光照射を行ってください。

ジルコニア等の金属酸化物については、高透光性を有する「ノリタケ カタナ® ジルコニア」のSTML/UTML及び「カタナ® ジルコニア ブロック」のSTMLのみ、厚さ1.2mm未満で使用することができます。「ノリタケ カタナ® ジルコニア」のYMLは厚さ1.2mm未満のラミネートベニアの場合のみ使用することができます。他のジルコニア等の金属酸化物は十分な透光性を有しない為、使用できません。

(9) 仕上げ

必要に応じて、マージン部をポリッシャーやストリップスを使用して研磨します。

* [使用方法に関連する使用上の注意]

「パナビア® ベニア LC ペースト」に関する使用上の注意

- ①十分な透光性を有する厚さ2.0mm未満の補綴装置のみに使用すること。ジルコニア等の金属酸化物については、高透光性を有する「ノリタケ カタナ® ジルコニア」のSTML/UTML及び「カタナ® ジルコニア ブロック」のSTMLのみ、厚さ1.2mm未満で使用することができます。「ノリタケ カタナ® ジルコニア」のYMLは厚さ1.2mm未満のラミネートベニアの場合のみ使用することができます。他のジルコニア等の金属酸化物は十分な透光性を有しない為、使用できません。
- ②冷蔵庫から取り出した後、室温に15分以上置いてからペーストを採取すること。室温に戻る前のペーストは幾分固くなり、押出しにくくなる場合があります。
- ③光反応性の高い重合触媒を配合しているため、接着操作時にはデンタルライト及びライト付ルーベ等の光源の角度や距離等を調整するなどの光量を下げる回避処置を行うこと。
- ④余剰ペースト除去を光照射によって行う場合、半硬化までの時間は照射器の種類や光量により異なるため、ペーストに光照射して事前に確認してから、適宜調節すること。

- ⑤アプリケーションチップの取付けに際しては、シリンジとの嵌合部にペーストの付着がないことを確認後、アプリケーションチップをゆっくりと時計回りに回し、緩みのないようにしっかりと取付けること。アプリケーションチップが抜け落ちたり、ペーストが漏れ出る場合があります。

- ⑥アプリケーションチップ先端または、シリンジ先端に付着したペーストを拭き取る場合、アルコールを多く含んだワットはそのまま使用せず、余分なアルコールを絞ってから使用すること。アルコールを多く含んだまま使用すると、先端からアルコールが浸入し、ペーストが希釈され、所定の性能を発揮しない場合があります。

- ⑦アプリケーションチップのノズル内の空気を追い出し、ペーストへの気泡の混入を防ぐため、本品を使用する前に必ず口腔外において、先端を上方向に向けて、ペーストがノズルの先端にくるまでゆっくりプランジャーを押すこと。

- ⑧直接口腔内にペーストを塗布する場合は、交差感染を防ぐため、必ずポリ袋等の保護カバーでシリンジの全体を覆い、唾液・血液等が接触しないように注意してください。また、使用前後にシリンジをアルコールワットで拭い消毒してください。

- ⑨余剰ペーストを除去する際は補綴装置を押さえながら行うこと。補綴装置内面は十分に硬化していないので、浮き上がりおそれがあります。特に、フロスを用いて除去する場合は、補綴装置が浮き上がらない方向にフロスを抜いてください。

「パナビア® V5 トゥース プライマー」に関する使用上の注意

- ①採取後5分以内に使用すること。
- ②インプラントアバットメント、フレーム及び菌冠修復物の表面処理には使用しないこと。「パナビア® V5 ペースト」の硬化が促進され、十分な操作時間が確保できないことがあります。
- ③「パナビア® V5 ペースト」及び「パナビア® ベニア LC ペースト」以外のセメント（「パナビア® F 2.0 ペースト」等）と組み合わせ使用しないこと。
- ④唾液、血液等で処理面が汚染された場合は、「使用方法」欄に記載の方法にしたがい清掃した後、再度処理を行うこと。処理面が汚染されると接着強さが低下するおそれがあります。

「クリアフィル® セラミック プライマー プラス」に関する使用上の注意

- ①揮発性の溶媒（エタノール）を含んでいるため、溶媒が揮発すると粘度が上昇し、性能が低下するおそれがあります。採取後は速やかに使用すること。
- ②補綴物の表面に塗布・乾燥後は速やかに接着操作を行うこと。
- ③唾液、血液等で汚染された場合は、被着面を水洗した後、再度「使用方法」欄にしたがって清掃し「クリアフィル® セラミック プライマー プラス」での処理をやり直すこと。処理面が汚染されると接着強さが低下するおそれがあります。

光照射に関する使用上の注意

- ①本品の使用前に使用する照射器で「パナビア® ベニア LC ペースト」に1〜2秒光照射して硬化時間等を事前に確認すること。
- ②照射口はできるだけ修復部位に近接させて、修復部位に垂直に保持し照射すること。また、硬化させる面積が歯科重合用光照射器の口径より大きい場合には、何ヶ所かに区分して分割照射を行うこと。

* [使用上の注意]

(1) 使用注意

- ①「パナビア® ベニア LC ペースト」を仮着用セメントとして使用しないこと。
- ②必要に応じてラバーダム等の防湿処置を行うこと。
- ③覆髄を必要とする場合には、水酸化カルシウム系の覆髄材などを用いて覆髄等の処置を行うこと。
- ④仮封・仮着材は完全に除去すること。タンニン（例えばHY剤として配合している松風社製品）、或いは酸化マグネシウムを配合の仮封・仮着材の除去が不十分な場合、変色するおそれがあります。
- ⑤過酸化水素水は接着強さの低下を招くおそれがあるので窩洞清掃に使用しないこと。
- ⑥次亜塩素酸ナトリウム水溶液は接着強さの低下を招くおそれがあるので使用しないこと。

- ⑦硫酸鉄系の止血剤は「パナビア® ベニア LC ペースト」を変色させ、接着強さの低下を招くおそれがあるので使用しないこと。
- ⑧塩化アルミニウム配合の止血剤を使用する場合は、最小限の使用に留め、被着面には触れないように注意すること。塩化アルミニウム配合の止血剤が被着面に触れると接着強さが低下するおそれがあります。
- ⑨覆罩、仮封・仮着にはユージノール系の材料は、使用しないこと。変色や硬化不良を起こす場合があります。
- ⑩窩洞内にアマルガム又は裏装材が残存していると、「パナビア® ベニア LC ペースト」と窩洞の接着を妨げるので、窩洞形成時に完全に除去すること。
- ⑪窩洞清掃が不十分な場合、接着強さが低下するおそれがあるため十分に清掃すること。唾液、血液等で被着面が汚れた場合は、水洗等の清掃を行い乾燥した後に、装着させること。
- ⑫他の材料と練和して使用しないこと。
- ⑬誤飲させないように注意すること。
- ⑭使用後は容器のキャップを確実に締めて保管すること。

(2) 重要な基本的注意

- ①本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、専門医の診断を受けさせること。
- ②本品に対する過敏症の既往歴のある術者は、手袋等を用いて直接本品に触れないようにすること。また、本品の使用により過敏症状を起こした場合には使用を中止し、専門医の診断を受けること。
- ③本品が口腔軟組織や皮膚に付着することがないよう、また目に入らないように注意すること。口腔軟組織、皮膚に付着した場合には、アルコール綿球等で拭き取り、多量の水で洗浄すること。また、目に入った場合には、ただちに多量の水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。
- ④本品が付着した粘膜面は若干白くなることがありますが、モノマーの蛋白凝固作用による上皮組織への一過性の現象で、白化は短期間で消失します。患者に対しては、ブラッシング等で白化した部位に刺激を与えないように説明してください。

【保管方法及び有効期間等】

*[保管方法]

- ・本品は、2～8℃で保管し、直射日光、デンタルライト等の強い光が当たる場所に置かないこと。また、使用する際は室温に取り出して15分以上経過してから使用すること。
- ・「クリアフィル® セラミック プライマー プラス」は可燃性です。火気の近くでの使用、保管は避けること。

**[有効期間]

- ・本品は包装に記載の使用期限※までに使用すること。

※(例  YYYY-MM-DDは使用期限YYYY年MM月DD日を示す。)

〔記載の使用期限は自己認証(当社データ)による。〕

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

製造販売元：

クラレノリタケデンタル株式会社

〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28

フリーダイヤル：0120-330922

販売元：

株式会社モリタ

〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18 TEL (06) 6380-2525

〒110-8513 東京都台東区上野2-11-15 TEL (03) 3834-6161

「クリアフィル」、「パナビア」、「MDP」、「オキシガード」、「アベンシア」は株式会社クラレの登録商標です。

「カタナ」はノリタケ株式会社の登録商標です。